

English follows Japanese

Genesis 創世記 14:1-16 恵みに満ちた救い A Merciful Salvation

先週アブラムに関しての学びを彼がカナンに戻りマムシの櫛の木と呼ばれる場所に住むところで終えました。彼は甥ロトに彼の群れを養うためにより良い土地を取らせる謙虚な行為によって彼との間の平和を保ちました。さて、14章では、アブラムから離れ、その地域の王たちや国家を巻き込むより国際的な出来事に向かいます。アブラムにも関連がありますが、すぐにはそれを見ることができません。これから2週間の説教で見るアブラムの生涯の出来事をお膳立てする最初の7節を読みましょう。1."さて、シナルの王アムラフェル、エラサルの王アルヨク、エラムの王ケドルラオメル、ゴイムの王ティデアルの時代のことである。

2.これらの王たちは、ソドムの王ベラ、ゴモラの王ビルシャ、アデマの王シンアブ、ツェボイムの王シェムエベル、ベラすなわちツォアルの王と戦った。

3.この五人の王たちは、シディムの谷、すなわち塩の海に結集した。

4.彼らは十二年間ケドルラオメルに仕えていたが、十三年目に背いたのである。

5.そして十四年目に、ケドルラオメルと彼に味方する王たちがやって来て、アシュタロテ・カルナイムでレファイム人を、ハムでズジム人を、シャベ・キルヤタイムでエミム人を、

6.セイルの山地でフリ人を打ち破り、荒野の近くのエル・パランまで進んだ。

7.それから彼らは引き返して、エン・ミシュパテ、すなわちカデシュに至り、アマレク人の全土と、さらにハツェツォン・タマルに住んでいるアモリ人を打ち破った。Let's pray.

14章の始まりに当時の既知の世界全体での国際戦争が起こっているのを見ます。エラムの王ケドルラオメルは彼に貢ぎ物をするヨルダン川低地の国々の王たちの反乱を制圧するために出て行きます。彼らはケドルラオメル王にこの時より12年前の戦争で制圧されたために忠誠を負っていました。ケドルラオメル王は他の3つの忠実な同盟国の参加を得て5人の王と戦いに臨みました。聖書以外ではこの戦争や王たちについてあまり情報がありません。これらの王たちが誰であるかを解明するため、既知の歴的人物に名前を結びつけようと何度も試みられましたが、一つとして決定的なものはありません。現代の学者はこれらの出来事が非聖書的な記録によって証明できないことを聖書が誤りでいっばいであることの証拠にしようとしているが、これらがすべてが真実であるということ否定する理由もありません。実際私たちは初期文明についてわからないことが多々あります。あなたは、モーセが自分たちのことばで話し、民のためにヘブライ語で書かれた何百年も前の名前や出来事の記述に取り組んでいます。

これらの王たちが誰であろうとも、明らかに彼らは力があり、彼らの侵略をその地域の多くの街や人々に広げていきました。そこまでは、彼の住んでいる所ではなかったためアブラムとは一切関係がなかったが、次の8節からこの戦いが彼にどう影響し始めるかを見ます。8.そこで、ソドムの王、ゴモラの王、アデマの王、ツェボイムの王、ベラすなわちツォアルの王は出て来て、シディムの谷で戦う備えをし、

9.エラムの王ケドルラオメル、ゴイムの王ティデアル、シナルの王アムラフェル、エラサルの王アルヨクと対峙した。この四人の王と、先の五人の王とであった。先に触れた5人の王は団結して、その4人の王、とりわけケドルラオメル王、を攻撃して、彼らが強要されて支払っていた貢ぎ物やその他の事をやめるためにその地域から追い出そうとしました。しかしながら、10節から見るように、思惑通りにはいかないようです。10.シディムの谷には瀝青の穴が多くあり、ソドムの王とゴモラの王は逃げたとき、その穴に落ちた。そして、残りの王たちは山の方に逃げた。

11.四人の王たちは、ソドムとゴモラのすべての財産とすべての食糧を奪って行った。ヨルダン渓谷地域の王たちは戦いに敗れ、彼らの街は略奪されました。彼らの食糧は取り去られ、後で見るように民も連れ去られました。さて、ロトは彼の家族とこの地域に移っていました。ソドムは甚だしく罪深いと言われていました。しかし、ロトはそれでもそこに住み移りました。

12.アブラムはカナンの地に住んだ。一方、ロトは低地の町々に住み、ソドムに天幕を移した。

13.ところが、ソドムの人々は邪悪で、主に対して甚だしく罪深い者たちであった。ロトは利己的に最高の土地を選びました。そしてその土地の一番邪悪な部分に移り、キャンプを設営しました。ソドムへの近さは彼を個人的にソドムの戦士たちが敗れたこの戦によって影響しました。話が進むにつれてこれを見ます。12節 また彼らは、アブラムの甥のロトとその財産も奪って行った。ロトはソドムに住んでいた。さて、ここでなぜこの王たちの間の戦争がアブラムの話にとり重要なかが分かります。ロトの利己心と商業の中心地であり、また罪の中心地でもあったであろうソドムに住む願望は、いま、ロトに自由を失わせました。彼の叔父の新しい土地への旅によって大きな利益を得たこの甥。土地の問題でアブラムに付け込んだこの男に対してのアブラムの反応は何だったのでしょうか。あなたやわたしがアブラムなら、その反応はどうだったのでしょうか。

私たちは胸の内では、ロトは自業自得だ、当然の報いだと言いたくなるのではないのでしょうか。彼は罪人と交わり、今は彼らと暮らしているのです。しかし、アブラムの信仰はそのように反応することを許しませんでした。この物語の今日学ぶ部分が終わりに差し掛かる時、アブラムが勇気を持って彼の甥を救うと言う反応を示すのを見ます。13-16節 13.一人の逃亡者が、ヘブル人アブラムのところに来て、そのことを告げた。アブラムは、アモリ人マムシの檜の木のところに住んでいた。マムシはエシュコルとアネルの兄弟で、彼らはアブラムと盟約を結んでいた。

14.アブラムは、自分の親類の者が捕虜になったことを聞き、彼の家で生まれて訓練された者三百十八人を引き連れて、ダンまで追跡した。

15.夜、アブラムとそのしもべたちは分かれて彼らを攻め、彼らを打ち破り、ダマスコの北にあるホバまで追跡した。

16.そして、アブラムはすべての財産を取り戻し、親類のロトとその財産、それに女たちやほかの人々も取り戻した。アブラムは脱出した人からロトや他のソドムの人たちの捕囚を聞きます。彼は彼のために働くすべての人たち、318名を集めました。彼ら318名は、ソドムでロトや他の人々を捕らえた軍隊を追いかけました。彼らは首尾よくロトを含むすべての捕虜を解放し分捕られていた所有物や宝を取り返しました。物語はここで終わりではありません。これは実際、前後半に分かれており、来週ジョッシュ先生が彼の説教で締めくくってくれます。この物語の最終幕で、アブラムが征服の報酬である、戦利品を一切自分のために取ることをしないのを見ます。彼は神に十分の一献金し、ソドムの王からの金銭的贈答を一切断ります。アブラムはこの使命を彼自身を肥やすために請け負ったのでも、この戦争に至った紛争に関わる王たちに自分をよく見せるためでもありませんでした。彼は優しさを善意から彼の親戚ロトのために彼がロトからひどい仕打ちを受けた後に行いました。これは善意に相応しくないへの憐み深い行為でした。旧約聖書の出来事をどのように解釈したり教えたりするか注意深くあるべきですが、明らかなのはそれらが今日でも私たちのための手本となるべきはずであることです。コリント人への手紙一でパウロはモーセについてそしてイスラエルの民がどのように神に反逆したかを話しました。コリント人への手紙 第一 10章6節 "これらのことは、私たちが戒める実例として起こったのです。彼らが貪ったように、私たちが悪を貪ることのないようにするためです。ですから、旧約聖書の人物の行為を神が私たちに神または他の人たちに対してどのように振る舞うことを望まれているか否定的にも肯定的にも手本とする事は適切です。この場合、アブラムの行動は私たちに私たちが不当に扱った人たちをどのように扱うべきかを示しています。先週、もうすでにアブラムの彼の甥の身勝手さに対する謙虚な対応を見ました。しかし、今日アブラムの利己的な甥に対する扱いで彼がさらに踏み込むのを見ます。これは、私たちが先週見たイエスの山上の垂訓で言及されたことに沿っています。具体的に、イエスがマタイの福音書5章40-41節で仰ったことを検討したいと思います。マタイの福音書 5章40~41節

40.あなたを告訴して下着を取ろうとする者には、上着も取らせなさい。

41.あなたに一ミリオン行くように強いる者がいれば、一緒に二ミリオン行きなさい。

イエス様の描写は完全に付け込まれている例です。最初のケースでは、あなたが裁判で負けて、主要な下着と考えられるものを失います。

チュニックはマントの下に着る主な衣服です。チュニックは外套であるマントほど高価ではありませんでした。マントは高価であり、夜間でも上着として着る人を覆うだけでなく暖かく保ちました。イエス様は言っています。あなたはもうすでに、訴訟で付け込まれている。さあ、より高価な品をあなたに勝訴した人に差し出しなさい。そして、次にイエス様はローマの兵士の例を用います。ローマの兵士は誰でもローマ帝国で彼らの装備を彼らのために1マイル担ぐよう強要することができました。当然、特にユダヤ人は喜んで行うものはいませんでした。ローマ人はたいてい嫌われており、多くのユダヤ人はイスラエルでのローマの統治を転覆するメシアを期待していました。イエス様は言います。もし、あなたがそのように利用されたとしたら、ローマの兵士から要求されたよりさらにもう1マイル担ぎなさい。あなたは相応しくない人に与えるよう反応するのです。もちろん、これはわたしたちの誰もを心地よくしません。私たちは即イエス様にいやです、彼らは私たちの善い行いにふさわしくありませんと言いたいのです。確かにその通りです。

しかし、イエス様はアブラムが理解したことを指摘しようとされています。それはクリスチャン生活は世の正義と公正の定義に準拠するものではないと言うことです。それは憐れみと恵み、不相応な思いやりと好意に基づいています。それは神が私たちが扱われるやり方であり、わたしたちが他の人たちを扱うべきやり方です。神は私たちに相応しいものをお与えになりません。詩篇 103 篇 10 節

"私たちの罪にしたがって私たちが扱うことをせず私たちの咎にしたがって私たちに報いをされることもない。神が私たちに相応しいものをお与えにならない事を憐れみと言います。アブラムは口トに対して憐れみをもって行動し、神は彼に対して罪を犯した私たちに憐れみをもって対処されます。あまりにも多くの人たちが、まるで神が私たちに借りか恩義があるような考えを持っています。もし神が良い神なら、私の人生は完璧なはずだ。悪は存在しないはずだ。私は良い人なので、罪の刑罰は相応しくない。問題は、神を侮り、軽視することです。自分たちを過大評価しています。わたしたちは自分たちの罪がどれほどの悪か見えないのです。罪はわたしたちの行いで神の栄光を現さないもの全てです。ローマ人への手紙 3 章はそれを説明し、その後、23 節から神の憐みを明確にしています。ローマ人への手紙 3 章 23~25 節 23.すべての人は罪を犯して、神の栄光を受けることができず、それは、あなたがすることすべてで聖書、神の御言葉に沿っていないもの、又は最高の神によって創造されたあなたのアイデンティティーを否定する神の栄光を現さないことです。神はそれを罪と呼ばれます。神が善悪を判断されます。あなたがどれほど自分が善い人と思っても、あなたの善は神の栄光を現すには不十分です。するとそこに神の憐みが見えます。ローマ人への手紙 3 章 24 節 神の恵みにより、キリスト・イエスによる贖いを通して、価なしに義と認められるからです。私たちはみな私たちの創造主をに栄光を帰すことが出来ずに有罪です。私たちに相応しいのは罪の刑罰です。しかし、その代わりに私たちは神の憐みを受け取ります。刑罰の代わりに、私たちは義とされ、罪はないと宣言されます。これは恵みです。憐れみとは神が私たちに相応しい扱いをせず、恵みは神が私たちに相応しくないものをお与えられることです。私たちは刑罰に相応しかったのです。しかし、神は私たちに赦しをお与えられました。私たちは、イエス・キリストゆえに神の恵みを受けたと言われています。私たちはイエス様のおかげで救いを受け、私たちの罪から贖われたのです。25 節はなぜイエスが私たちが私たちの罪から救うことができるかの理由で終わります。25.神はこの方を、信仰によって受けるべき、血による宥めのささげ物として公に示されました。ご自分の義を明らかにされるためです。神は忍耐をもって、これまで犯されてきた罪を見逃してこられたのです。"

イエス・キリストのおかげで、私たちは罪の赦しを受けることができ、無罪と宣言され、義認められるのです。propitiation という難しそうな英単語がその理由です。つまり、神が彼の怒りを十字架の上のイエス・キリスト御自身に注ぎ出したのです。そうすることによって、わたしたちの罪に対する神の怒り、憤りは退けられ、私たちは赦されることが出来ます。罪は罰せられなけれ

ばならず、わたしたちのメシア、イエスはもうすでにその罰を受けられたのです。25 節の終わり、私たちがすることはただ信仰により受けとることです。それを信じて、イエス・キリストを私たちの救い主、私たちの主として受け入れるのです。そうすることによって神の憐みを体験します。アブラハムは憐れみを見せました。神はイエス・キリストを通して私たちに憐れみを与えますあなたは、今日、イエス・キリストをあなたの救い主として受け入れることによって、神の憐みを体験しませんか。Let's pray.

Genesis 14:1-16 A Merciful Salvation

When we left Abram last week, he was back in Canaan living in a place called the Oaks of Mamre. He had kept the peace between him and his nephew Lot through his humble action of letting him take the better land to feed his flocks on. Now in Chapter 14, we seem to turn away from Abraham to a more international event involving all the kings and city states in the area. It does apply to Abraham, but we don't see that right away. Let's read the first seven verses that set up the events of Abraham's life over the next two sermons. **In the days of Amraphel king of Shinar, Arioch king of Ellasar, Chedorlaomer king of Elam, and Tidal king of Goiim, ² these kings made war with Bera king of Sodom, Birsha king of Gomorrah, Shinab king of Admah, Shemeber king of Zeboiim, and the king of Bela (that is, Zoar). ³ And all these joined forces in the Valley of Siddim (that is, the Salt Sea). ⁴ Twelve years they had served Chedorlaomer, but in the thirteenth year they rebelled. ⁵ In the fourteenth year Chedorlaomer and the kings who were with him came and defeated the Rephaim in Ashteroth-karnaim, the Zuzim in Ham, the Emim in Shaveh-kiriathaim, ⁶ and the Horites in their hill country of Seir as far as El-paran on the border of the wilderness. ⁷ Then they turned back and came to En-mishpat (that is, Kadesh) and defeated all the country of the Amalekites, and also the Amorites who were dwelling in Hazazon-tamar. Let's pray.**

As chapter 14 opens, we see this international war taking place that covers the known world at that time. You have King Chedorlaomer of Elam who goes to put down a rebellion of the kings in the Jordan River valley who seemed to be tribute states of his. They owed him allegiance and payments because he had conquered them in battle 12 years before this. King Chedorlaomer is joined by 3 other loyal allied nations in the battle against the 5 kings. Outside of Scripture we do not have a lot of information about this battle or these kings. Many attempts have been made to figure out who these kings were and assign their names to known historical figures, but none of them are conclusive. Modern scholars try to use these events that are not proven by other non-Biblical records as proof that the Bible is filled with errors, but there is no reason to believe this is anything but true. There are plenty of really early civilizations that we do not know a lot about. And you are dealing with an account written in Hebrew of names and events that happened hundreds of years before Moses writes it to people who spoke and wrote in their own languages.

Whoever these kings were, it is clear that they were powerful and they had extended their conquests to most of the cities and people groups in the area. So far, this has nothing to do with Abram since he didn't live in any of those areas, but starting in verse 8, we see how this war began to affect him. **⁸ Then the king of Sodom, the king of Gomorrah, the king of Admah, the king of Zeboiim, and the king of Bela (that is, Zoar) went out, and they joined battle in the Valley of Siddim ⁹ with Chedorlaomer king of Elam, Tidal king of Goiim, Amraphel king of Shinar, and Arioch king of Ellasar, four kings against five.** The five kings mentioned earlier saw the opportunity to join together and perhaps kick these kings, especially Chedorlaomer out of their area altogether and stop paying him tribute money or whatever else he was doing to them. But as verse 10 continues we see things do not go their way. **¹⁰ Now the Valley of Siddim was full of bitumen pits, and as the kings of Sodom and Gomorrah fled, some fell into them, and the rest fled to the hill country. ¹¹ So the enemy took all the possessions of Sodom and Gomorrah, and all their provisions, and went their way.** The kings of the Jordan valley

area lost the battle and their cities were sacked. Much of their provisions were taken, along with people as we will see.

Now, remember Lot had moved his family to this area. Sodom was said to be tremendously sinful, but Lot had moved to live by it anyway. [Genesis 13:12-13](#) says [12 Abram settled in the land of Canaan, while Lot settled among the cities of the valley and moved his tent as far as Sodom. 13 Now the men of Sodom were wicked, great sinners against the Lord.](#) Lot had selfishly chosen the best land, and then moved to the most ungodly part of the land and set up camp there. This nearness to Sodom meant that he was personally affected by this war or battle that the warriors of Sodom had lost. We see this as the story continues in verse [12 They also took Lot, the son of Abram's brother, who was dwelling in Sodom, and his possessions, and went their way.](#) Now we find out why this battle between these kings is important to the story of Abraham. Lot's selfishness and desire to be in the center of commerce that Sodom likely was, but also the center of sin, now cost Lot his freedom.

Now to this nephew who had benefitted from his uncle's journey to this new land. To this man who had taken advantage of Abraham in the issue of land. What is Abraham's response? What would be your or my response? To some of us, we may be tempted to say that Lot is getting what he deserved. He made his bed with the sinners and now he is lying in it! But Abraham's faith would not let him respond in that way. As we close the part of the story we are looking at today, we see that Abraham responds with courage to rescue his nephew. Verses 13-16 say, [13 Then one who had escaped came and told Abram the Hebrew, who was living by the oaks^{\[a\]} of Mamre the Amorite, brother of Eshcol and of Aner. These were allies of Abram. 14 When Abram heard that his kinsman had been taken captive, he led forth his trained men, born in his house, 318 of them, and went in pursuit as far as Dan. 15 And he divided his forces against them by night, he and his servants, and defeated them and pursued them to Hobah, north of Damascus. 16 Then he brought back all the possessions, and also brought back his kinsman Lot with his possessions, and the women and the people.](#) Abram hears from a person who escaped about the capture of Lot and the others from Sodom. He gets all the men that work for him together, and there are 318 of them. These 318 men go after the army that had kidnapped Lot and the other people from Sodom. They are successful and are able to free all the captives including Lot and bring back all the possessions and treasures that were taken.

The story does not end where we are ending today. This is really a two part message that Josh Carolla will end next week in his sermon. In the final acts of this story, we will see Abraham not keeping any of the spoils, the rewards, from the conquest for himself. He tithes part of it to God, and then refuses any monetary gifts from Sodom's king. Abram did not undertake this mission to enrich himself or to even make himself look good to any of the kings involved in the dispute that led to the war. He did it as an act of kindness and good will towards his relative Lot, even after being treated badly by Lot. This was a merciful act towards one who did not deserve that good will.

Now, you have to be careful about how you interpret and teach on events in the Old Testament, but one thing is clear that they are meant as examples for us to follow even today. In 1 Corinthians, Paul talked about Moses and how the people of Israel had rebelled against God. And then he says in [1 Corinthians 10:6](#), [Now these things took](#)

place as examples for us, that we might not desire evil as they did. So it is legitimate to take the actions of people in the Old Testament as examples to us either negatively or positively of how God wants us to act towards Him and towards others. In this case, Abram's actions show how we should treat those who have wronged and mistreated us. We already saw this last week, in Abram's humble response towards his nephew's selfishness. But, now we see it in how he goes even further in his treatment of his selfish nephew. This is in line with what Jesus says in the sermon on the Mount that we looked at last week. Specifically, I want to examine what he says in [Matthew 5:40-41](#). Jesus there says, [And if anyone would sue you and take your tunic, let him have your cloak as well. 41 And if anyone forces you to go one mile, go with him two miles.](#)

Jesus' illustration is one of being totally taken advantage of. In the first case, you lose in a lawsuit and you lose what would be considered the primary undergarment. What is called a tunic is the main garment worn under an outer cloak which the verse also mentions. Now the tunic was not nearly as expensive as the Cloak. The cloak was expensive and would be used to cover up with at night as well as keep a person warm. Jesus is saying, you already got taken advantage of in the lawsuit, now give up the more expensive item to the person who won against you in court. Then Jesus uses the illustration of Roman Soldiers. A Roman soldier could force any person in the Roman empire to carry their equipment 1 mile for them. Obviously, especially for a Jew, this would not have been done with the most agreeable of attitudes. The Romans were for the most part not well liked, and most Jews were expecting a Messiah who would overthrow the Roman rule in Israel. Jesus says, when that happens and you are taken advantage of in that way, you go another mile which you are not required to for that Roman soldier. You respond by giving to those who do not deserve it. Now of course, this would make any of us uncomfortable. We probably want to immediately say, No, Jesus, they don't deserve that good action on my part. And, that is true.

But, Jesus is trying to point out what Abram understood, that the Christian life is one that is not conformed to the world's definition of justice and fairness. It is based on mercy and grace, undeserved kindness and favor. It is how God treats us, so we are to treat others. God does not give us what we deserve. [Psalm 103:10 says, He does not deal with us according to our sins, nor repay us according to our iniquities.](#) God not giving us what we deserve is a word we call mercy. Abraham acted with mercy towards Lot and God acts with mercy towards us who sinned against him. For too many people, they have this view of God that seems to be that God owes us something. If he really is a good God, then my life should be perfect, evil should not exist, and I don't deserve punishment for sin because I am a good person. The problem is when we have that view of God – a very low view – we have a much too high view of ourselves. We do not see just how bad our sin is, what Psalm 103:10 also calls iniquities. Sin is anything we do that does not glorify God.

[Romans 3](#) explains that and then explains God mercy very clearly starting in verse [23, for all have sinned and fall short of the glory of God](#)... Everything you do that does not line up with what God tells us in his Word, the Bible, or that rejects your identity as a created being by a Supreme God does not bring God glory. And God calls that sin. He is the determiner of right and wrong. And no matter how good you think you are, your goodness is insufficient to glorify God. But then God's mercy comes into sight in [verse 24 of Romans 3, ...and are justified by his grace as a gift, through the redemption that](#)

is in Christ Jesus. We are all guilty of sin, of not glorifying our Creator, and what we deserve is punishment for that sin, but instead we receive God's mercy. Instead of punishment, we are justified, meaning declared to be not guilty of sin. This is grace. Mercy is God not treating like we deserve, and grace is God giving us what we do not deserve. We deserved punishment, but God gave us a pardon. Then, we are told we receive God's grace because of Jesus Christ. We are saved or redeemed from our sin, because of Jesus. And verse 25 ends with the reason why Jesus can save us from our sin. ...whom God put forward as a propitiation by his blood, to be received by faith. Because of Jesus Christ, we can be forgiven of our sins, declared not guilty – justified. The reason for this is this big word here in English – propitiation. It means that God poured out his wrath against sin on Jesus Christ himself on the cross, so that that anger or wrath against sin that we deserve could be set aside and we could be forgiven. Sin had to be punished and Jesus, our Messiah, has already taken that punishment. And as verse 25 ends, all we do, is receive it by faith. We believe it, we accept Jesus Christ as our Savior and our Lord. That's all it takes to experience God's mercy. Abraham demonstrated mercy, and God offers mercy to us through Jesus Christ. Will you experience his mercy today by accepting Jesus Christ as your Savior? Let's pray.